

質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

12月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁とあわせて40分です。

三田市議会会議録 三田市議会インターネット中継 検索

西上 俊彦 議員

市民の会



北本 節代 議員

無会派の会



防災 女性消防班組織体制の充実を

議員 消防団の女性消防班は、女性班ならではの活動が大変重要であると考えが現在の活動内容は？また所属する分団はどこか。今後、市民にわかりやすい組織体制に見直しされる考えはないか。

市 体制の見直し、充実強化が必要

発足から4年目を迎え、現在は主に救急講習会や消防訓練指導の実施、広報活動など多岐に渡り取り組んでいる。所属は消防団本部付が11名と分団所属2名の計13名。新たな活動を展開していくため、組織体制の見直し、消防団全体の充実強化が必要と考えている。(平阪消防長)

他の質問 ●安心・安全なまちづくり ●マイナンバーカード申請写真の無料化

長谷川 美樹 議員

日本共産党三田市議団



交通 移動しやすい交通ネットワークの構築へ

議員 バス停が遠い・便数が少ないなど、地域によって異なる実態。行政自らが地域に入り、住民の声を聞くべき。高齢者の通院・買物サポートの玄関から玄関までの移送ボランティアへ保険料負担等を行政として支援してはどうか。

市 支援は必要、三田版総合戦略で検討

地域・目的等異なる実情がある事は認識しており、様々な交通手段等の具体的実施方法を検討している。(坂本都市整備部長) カーボランティアへの何らかの支援が必要と認識、策定中の三田版総合戦略で検討する。(本田まちづくり部長)

他の質問 ●誰もが安心して住まいの確保ができるために ●地方創生戦略策定

道路 県道三田西インター線、状況と今後は？

議員 用地取得の状況はどうか。また今後の進捗は？
市 工事の早期着工に向けて支援する。

平成27年11月現在、地権者39名のうち必要な用地面積に対して84%が確保されている。当該路線は、地域の発展と良好な都市形成のため必要不可欠な路線である。県は平成31年度完成予定に向け、今年度末に事業認定申請を行うべく準備を進めており、路線整備には強い覚悟をもって取り組まれようとしている。市としても可能な限り支援し意見もしっかりと述べていく。(番庄技監)

他の質問 ●地域担当制 ●有害鳥獣被害防止対策 ●タブレットパソコンを活用した学習の充実

説明 *県道92号三田西インター線:舞鶴若狭自動車道三田西ICから三田市を結ぶ主要地方道。現在、溝口から上井沢を経て広野にて国道176号線と接続するルートが指定されている。

美藤 和広 議員

市民の会



雇用 企業誘致促進で、「めざせ！若者の安定雇用」

議員 若者の安定雇用にむけ、県制度「IT関連事業所進出支援」の適用や市独自補助制度の強化や農業系起業の補助制度を創設しては？

市 総合的なサポート支援の創設を検討

県制度の適用には課題があるが、地域産業でのIT事業所の育成は雇用創出や空き店舗活用が期待できるので、仕組みづくりを進める。市独自では起業・創業支援体制や産官学連携による魅力づくりを研究する。6次産業の若者等を対象に安定的起業活動への総合的なサポート支援の創設を検討する。(市長)

他の質問 ●市の少子化対策 ●健康寿命日本一に向けた取り組み ●公文書の取り扱い

説明 *IT関連事業所進出支援:多自然地域(農山漁村)の産業振興等を図るため、県が2013年にスタート。IT関連の事業所開設経費の一部を補助。
*6次産業:1次産業+2次産業+3次産業=6次産業という考えに基づき、地域の資源を有効活用し加工品など新しい産業やサービスを生み出していくこと。

佐貫 尚子 議員

新政みらい・維新



健康 乳がん・子宮頸がん 検診受診率の向上を

議員 三田市の乳がん検診受診率は県平均を下回っている。こうした検診受診率を向上させるためには、三田市独自で、ピンクリボン期間を設け啓発活動を強化すべきではないのか。

市 更に啓発活動の強化に取り組む。

受診率向上を図るため、毎年4月に対象者に個別通知を行い、未受診者には再勧奨にも取り組んでいる。イベント等にあわせてピンクリボンキャンペーンにも取り組んでいる。(岩越健康福祉部長)

他の質問 ●介護者の支援 ●三田市の救急体制 ●シテイセールス

説明 *ピンクリボン:乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進すること、などを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーン、もしくはそのシンボル。



前中 敏弘 議員

無会派の会



市政 「三翠会」諸問題への市の対応は

議員 先日法人の仮理事らが選任された。その代表理事は6月に国税庁から税理士業務停止処分を受けたばかりで法令遵守の観点から代表理事を解任すべきだ。また、創業者一族の前理事長が副園長として引続き在任など納得出来ないし、あり得ない。どちらも県の指導と助言か。更に不正に関わった者を告発すべきと考えるが如何か。

市 市が責任を持って適切に対応

法人が自ら告訴されるであろう。市は、所轄庁として適切に対応していく。創業者一族による経営復活はない。人選は県に相談、問題無いものとする。(市長)

説明 *「三翠(さんすい)会」諸問題:三田市の社会福祉法人、使途不明金など不適切な会計処理が県の特別監査で発覚した。

國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団



保育 認可外保育所への支援について

議員 認可外保育所は、長年にわたり、待機児童の受け皿としての役割、一時保育、障がい児保育、長時間保育も担うなど認可保育所の補完的役割を果たしてきた。しかしながら施設運営への補助金が少なく、子どもたちが厳しい環境の中で保育を受けているため、補助金増額を求める。

市 さまざまな工夫で対応

財源に限りがあり補助金の増額は考えていない。現行の補助金を保育環境改善に有効に活用いただきたい。子どもたちの良い保育環境のため、さまざまな工夫を加えていきたい。(市長)

他の質問 ●高齢者障害者などへのゴミ個別収集 ●「同和行政」を完全終結し憲法に保障されている人権が生かされる市政運営をすること

平野 管子 議員

公明党



教育 学校司書配置の成果と今後の小中学校配置計画は

議員 小学校にモデル校を配置されたその成果と28年度からの学校司書の配置計画は。

市 読書に対する意識に変化あり、今後も拡充を図る。配置の効果としては、モデル校へのアンケートにおいて、「読書が好きになった」「図書館をよく利用する」と答える子どもや学校全体の貸出冊数も増加してきている。また、教員からも子どもの読書活動の充実につながったとの声が届いている。28年度からは更に中学校への配置も検討し、今後も配置校の拡充を計画していく。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●下水道ビジョン策定と企業会計移行後の状況と課題 ●補助金の適正化に向けた取り組み ●マイナンバー制度に伴う証明書のコンビニ交付